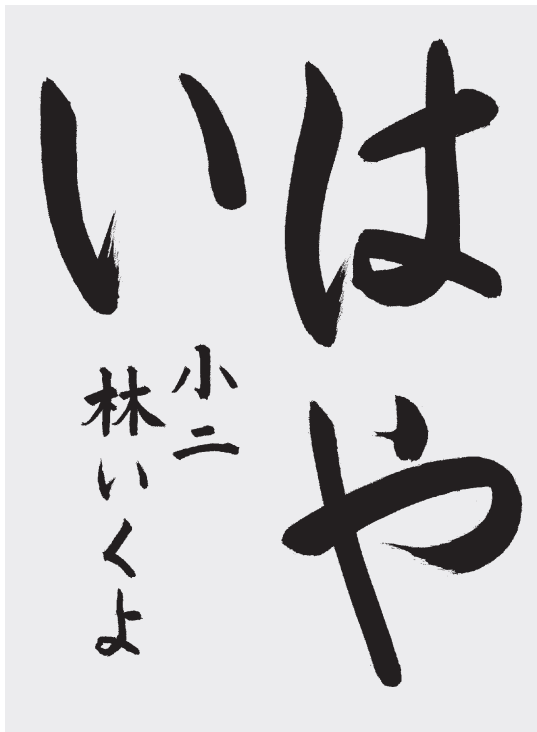


〔7月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



橋本玉扇先生

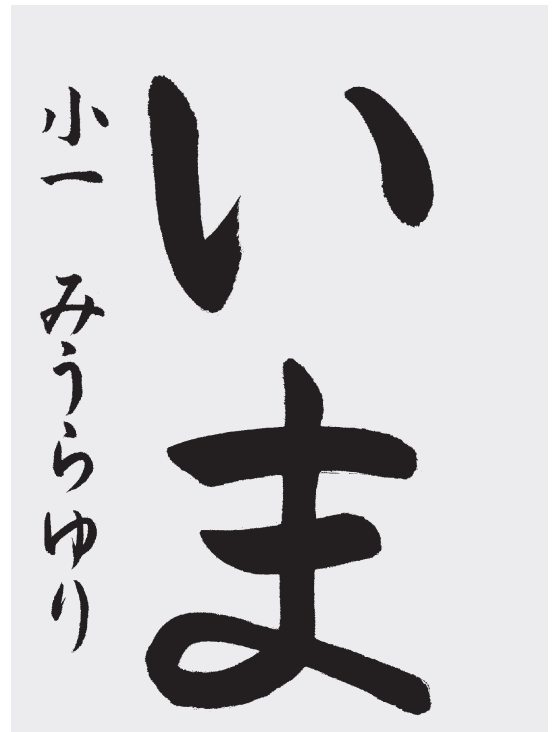


種谷萬城先生

幼・小学1年参考手本



島田白露先生



佐藤菜扇先生

〔7月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



東 福 青 篁 先生

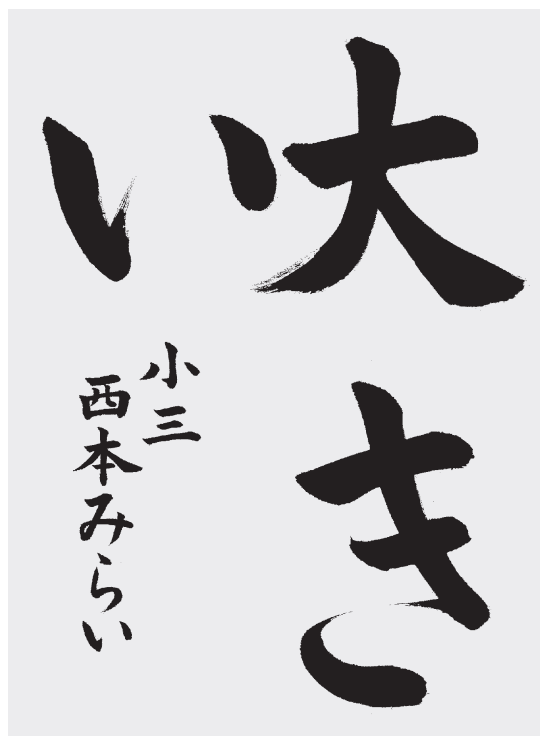


川 島 舟 錦 先生

小学3年参考手本



尾 形 澄 神 先生



名 越 蒼 竹 先生

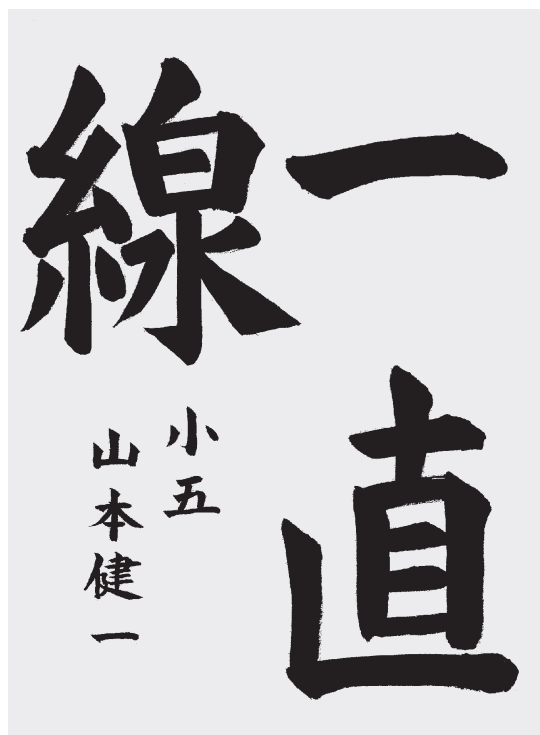
〔7月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

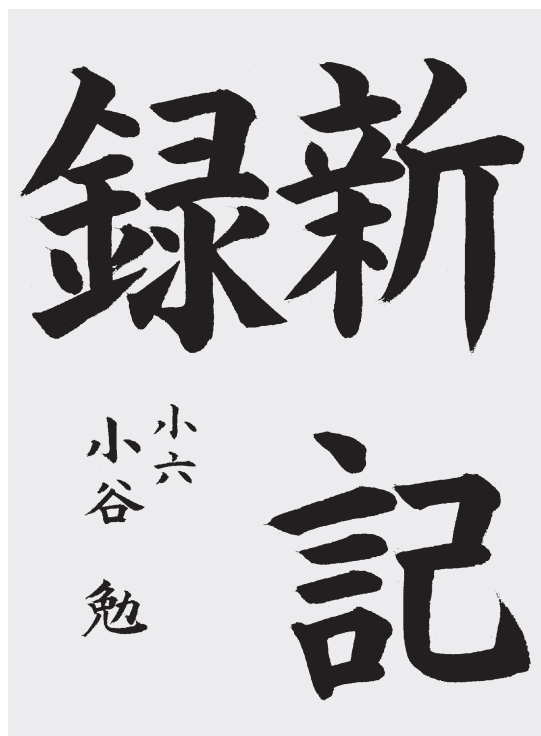


佐藤希雲先生

小学5年参考手本



田村鄭雲先生



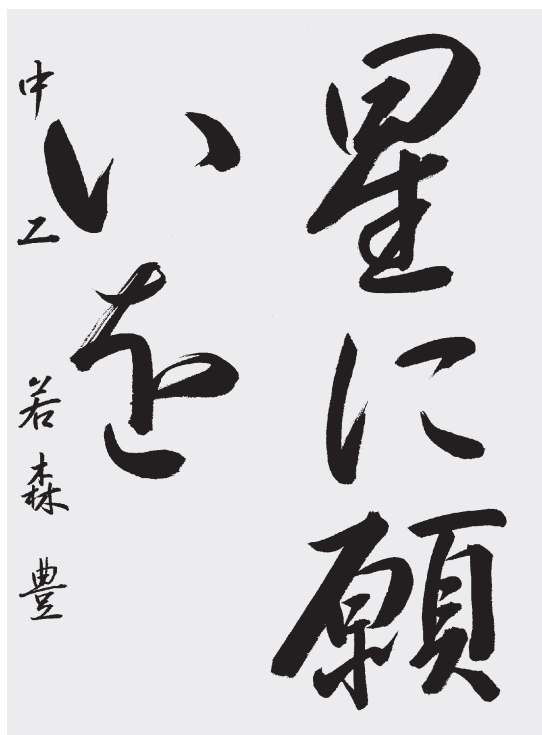
小竹石雲先生



稲垣小燕先生

〔7月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



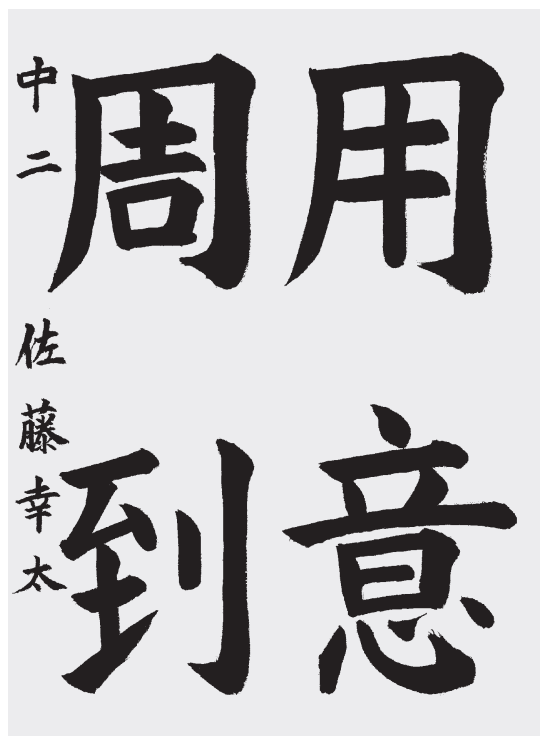
広瀬 舟雲 先生



三浦 鄭 街 先生



下谷 洋子 先生



板垣 洞 仙 先生

毛筆参考手本解説(1)

1 年

あ (ひろく) 安 ああ (へげん) あ (あ明) あ (教)

い (いま) い (いま明) い (ま教)

み (のぞみ) のぞみ (のぞみ明) のぞみ (教)

は (はい) はい (はい明) はい (教)

3 年

部 部 (へ) 撥音符号からン

ペン (ヨ) ペン (明) ペン (教)

大 (大) 大 (大明) 大 (教)

一 (一) 一 (一明) 一 (教)

4 年

元 (元) 元 (元明) 元 (元教)

一 (一) 一 (一明) 一 (一教)

外 (外) 外 (外明) 外 (外教)

一 (一) 一 (一明) 一 (一教)

5 年

線 (線) 線 (線明) 線 (線教)

一 (一) 一 (一明) 一 (一教)

登 (登) 登 (登明) 登 (登教)

一 (一) 一 (一明) 一 (一教)

〔7月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

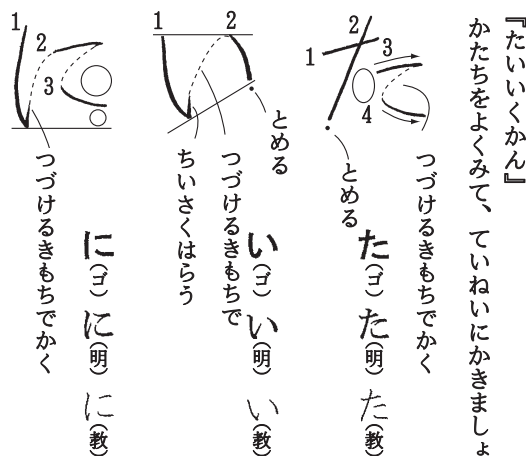
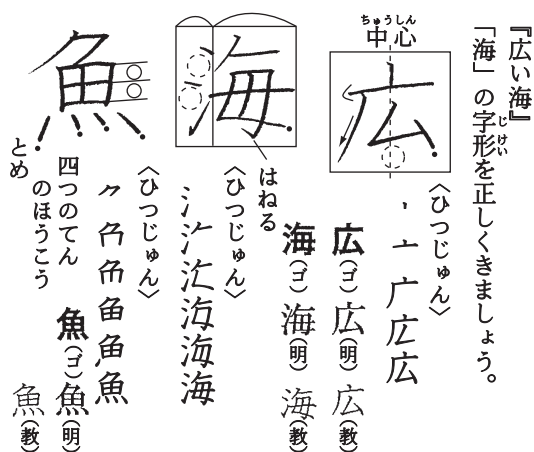
幼・小 学 1 年

支 部 名				
	小	広		
段・級	さ	い		
	な	海		
学 年	魚	に		
	た	く		
名 前	ち。	ら		
		す		

支 部 名				
	に	た		
だん・きゅう	い	い		
	き	い		
がくねん	ま	く		
	し	か		
な ま え	た。	ん		

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

硬 筆 参 考 手 本



〔7月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 4 年

小 学 3 年

支 部 名			
段・級			
学 年	四		
名 前	波川奈菜		

そ	ん	夏
れ	な	休
で	で	み
は	遊	に
、	び	は
お	に	、
元	行	家
気	き	族
で	ま	み
。	す	

支 部 名			
段・級			
学 年	三		
名 前	高木友行		

を	町
作	た
り	ん
ま	け
し	ん
た	で
。	地
	図

【家族】
筆順に気をつけて、ていねいに書きましょう。

中心
中心から書いて、**家**（ヨ）
中心にもどる
※はらいの方向に
注意して左右の
つりあいをとる。
家（教）

等間隔
族（ヨ）
「はらい」の方向と長さが大切
・「方」の筆順 **族**（ヨ）
族（教）

（筆順）
そる
気（ヨ）
方向と長さ
気（教）

【地図】
トメ・ハネに気を付けて書きましょう。

はねる
〈ひつじゅん〉
一ナナナナナナ
地（ヨ）
地（教）

たてが出る
〈ひつじゅん〉
□□□□□□
図（ヨ）
図（教）

あける
〈ひつじゅん〉
一□□□□□
町（ヨ）
町（教）

〔7月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 6 年

小 学 5 年

支 部 名			
段・級			
学 年	六		
名 前	今村大和		

て	は	
ま	、	文
と	筆	章
め	者	を
る	の	要
こ	意	約
と	図	す
が	に	る
大	そ	場
切	つ	合

支 部 名			
段・級			
学 年	五		
名 前	古川詩		

を	い	「
書	う	わ
い	題	た
て	で	し
み	、	と
よ	自	友
う	分	達
。	の	」
	体	と
	験	

【「要約」】
漢字の外形を見て、字形を整えましょう。

中心
要
止める
九画目を長く
要(教) 要(明) 要(書)

中心
約
止める
点の位置と方向に注意
約(教) 約(明) 約(書)

中心
切
止める
七(許容字体)
切(教) 切(明) 切(書)

【「自分の体験」】
左右のつりあいをよく、字形をととのえましょう。

中心
題
日 早 早 是 題 題
題(書) 題(明) 題(教)

中心
達
「いったん止めて、右へはらう
幸とえ(しんにょう)の組み合わせ
達(書) 達(明) 達(教)

中心
験
この字のつりあいをとる線
「馬」の筆順
一 一 一 一 馬 馬
験(教) 験(明) 験(書)

〔7月9日締切課題〕

作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

支部名	
段・級	
学 年	中三
名 前	持田将太

誰でも世界中に情報を発信する
ことができる時代となった。

中 学 生 (楷 書)

支部名	
段・級	
学 年	中三
名 前	持田 将太

現代はホームページを作成し、誰でも世界中に情報を発信することができるとなった。

『ホームページ』
漢字、ひらがな、カタカナをつりあいよく
書きましよう。

中心情報発信する

𠂔(はつがしら)の部

筆順

夕
夕
六
六
登
発

中心

癸

- ・行書のワンポイントアドバイス

行書は楷書かいしよに比べて、点画が丸みを帯び、曲線的になります。

終筆の変化

界

連続と省略

連続

言(ごんべん)の行書

これからの作品締切日と課題

令和5年8月号～6年1月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)	小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
次代を担う	自在	記念の日	開始	友人	こおり	そ	8月6日	8月
荒海や佐渡に横たふ天の川	粉骨碎身	集中力	湖水	石だん	へちま	もの		
夕映えの富士	名月	正倉院	朝食	田んぼ	ひろば	る	9月7日	9月
もみじがり	前代未聞	一心同体	飛ぶ	秋	ねがい	つき		
馬耳東風	文徳(九成宮・臨書)	有名な人	家族	方向	もみじ	え	10月6日	10月
柿くえば鐘かなるなり 法隆寺	達成感	時計	安全	虫かご	月	よむ		
理路整然	臨海(九成宮・集字)	筆の里	風景	見る	えがお	は	11月6日	11月
あらし吹く	詩を書く	波の音	大切	竹やぶ	ダム	すみ		
晴耕雨読	曲水(蘭亭序・臨書)	海岸線	星ふる夜	広がり	つばさ	き	12月4日	12月
見聞を広める	楽しい声	絵画	冬こもり	夕やけ	かもめ	ふゆ		
心機一転	恵風(蘭亭序・臨書)	固い決意	生きる力	たつ年	おせち	ね	1月8日	1月
炭を継ぐ	観察力	理想	新春	はつゆめ	ぞうに	もち		

8月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

し	み
ま	ず
し	あ
た	そ
。	び
	を

小2

を	朝、
見	青い
つ	アサガオ
け	
た	
。	

小3

く	ぎ
れ	もん
ま	点を
し	教えて
た	
。	

小4

を	話	新聞
調	題と	を持ち
べ	な	より、
ま	って	今、
し	いる	
た	記事	
。		

小5

め	を	案内
た	止	板を
	め	見て
	る	自
	位	転
	置	車
	を	
	た	
	し	
	か	

小6

す	現	歴史
力	代	に残
が	で	る演
あ	も	説は、
る	その	
	心を	
	動か	
	か	

中学生

り	広島	原爆
	の	ドーム
	は、	ユネスコ
	の	
	世界	遺産
	に登録	され、
	平和	への
	いの	
	を	全人類
	に	発信
	して	いる。

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第76回 身の回りの書2・電柱の看板

「空があんなに青いのも 電信柱が高いのも 郵便ポストが赤いのも みんなあたしが悪いのよ。」かつて世間で流行した落語のフレーズですが、電信柱を見かけるたびにこれが頭の中によぎります。

「電柱」が最初に敷設された頃の電線は電気のみを運ぶものでした。その後、「電信柱」が立てられ、固定電話の普及で電話用ケーブルが設置されました。今日では、さらに、ケーブルテレビやインターネットの普及により光ファイバーのケーブルなどがこれらの柱に取り付けられ、都会の電柱(電力会社が設置)・電信柱(電話会社が設置)は、本来は別なものです。今では様々な用途の線が同じように何種類も取り付けられているので一般的に世間ではどちらも同じ意味で使われています。これら配線等は、各柱の頭部に取り付けられるので、そこから下の部分は、配線工事の人が頭部に登るためのハンゴの役目をする短い棒状の「足場ボルト」が数個取り付けられている以外は空いています。そこで、このスペースの有効活用として考えられたのが広告看板の設置でした。

繁華街や居住地に立つ電柱には、近隣の様々な商店や病院などの広告看板が取り付けられています。そこに住む人々への広告媒体として利用されてきました。丸い電柱中央部側面に設置された看板は、その形状から縦長で、丸い電柱のその円周の約三分の一の曲面を覆う形状のものが一般的です。昔は薄い金属製でペンキを塗って下地を施した上に文字等が記されていました。絵が特殊印刷されたものとなりました。昔は毛

筆の手書き文字のものが多かったのですが、今はゴシック体や明朝体などの活字体为主となっています。写真は、「田無神社」の電柱看板です。創建三五〇周年を迎えるので歴史を感じさせる荘重な雰囲気がありながら、鎮守としての親しみを感じさせる書にしたいと心掛けて揮毫しました。この書は、宮司さんから西武新宿線の始発駅ホームの壁の大看板用として依頼されたものですが、その後、神社のロゴとして依頼され入る袋や絵馬の題字などとしても使用されています。電柱看板の見どころは文字や絵などのバランスだけではなく、どうしても看板に穴をあけて通さざるを得ない「足場ボルト」の位置との調和です。そして道を通る人から効果的にかつ品よく見える(目立つ)ことです。電柱看板を見かけたら、どのように工夫されているか、制作者の意図を想像しながら道を歩いてみると「身の回りの書」の学習につながります。

(つづく)



今月のホープ



太い筆を思い切りよく使い、これだけの大きさに書いても騒々しくなく美しいです。名前も丁寧に入り迫力満載の快作です。

支那名	飛山
段・級	
学 年	中三
氏 名	鳥海咲希

一文字、一文字、確実に書き上げ点画の細部に至るまで気持ちを含めています。更に精進される事を期待します。

小六 五十嵐 史穂 (土気書道教室)



紙面を大きくとらえ堂々と書いています。字形の確かさと一本一本の線が生き生きとして見応えのある作品です。

支那名	若美
段・級	
学 年	三
名 前	山田実子

一字一字正確で力強くしっかり書けています。マスに対してバランスもよく、堂々として立派な作品です。

小四 田辺 結菜 (八石)

小三 山田 実子 (若美会)

幼・1年

そ
ひろせめい

もの
小一 やまだあき

2年

りにお
小二 エどうゆい

まへち
小二 田中ゆい

3年

友人
小三 山口つとむ

ん石だ
小三 岩田海

4年

実行
小四 高島力

り魚つ
小四 山田和

5年

開始
小五 山田花子

湖水
小五 市川勝

6年

の記念
小六 田中学

力集中
小六 大林光

中学

自在
中一 山川一子

粉骨
中一 山水洋子

次代を
担う
中三 市川恵子

荒海や
佐渡に横たふ
天の川
中三 木村美江

編集余録

○春季昇段級試験の審査が終了しました。大変多くの出品があり、審査員の先生方で一点丁寧に審査しました。『合格証』は団体の先生宛にお送りしますので、楽しみにしてください。

○月例審査で写真版に掲載したい作品がありました。残念なことに、漢字の書き間違いや、課題違いがありました。作品を提出する際、もう一度自分の作品をよく見直してください。

○今年のゴールデンウィークは、皆さんどう過ごされましたか。私は千葉の成田山に行ってきました。成田山新勝寺では、弘法大師・空海の生誕1250年を祝う祭典をしており、多くの観光客で賑わっていました。空海は、平安時代の僧侶で、真言宗という宗派を開き、高野山に金剛峯寺を創建しました。書も優れ、橘逸勢と嵯峨天皇とともに、『三筆』の一人としても有名です。成田山と空海は、とても深い縁があり、成田山新勝寺のご本尊（お寺の中央に祀られている、最も大切な信仰の対象となる仏像や絵のこと）の『不動明王』は、空海が自ら敬刻開眼（仏像や仏画を作り、最後に目を入れて、魂を迎え入れること）したと伝えられています。成田山新勝寺の後方に広がる成田山公園内に、『成田山書道美術館』があります。現在、『弘法大師ご誕生1250年記念』成田山の美術』を開催しており、成田山の寺宝が多く展示してあります。全国的にも珍しい書の総合美術館です。成田山にお参りに行った際は、美術館にも足を運んでみてください。

（悠輝）